

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年5月18日(2022.5.18)

【公開番号】特開2021-42762(P2021-42762A)

【公開日】令和3年3月18日(2021.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2021-014

【出願番号】特願2019-162523(P2019-162523)

【国際特許分類】

F 16 C 35/063(2006.01)

10

F 16 C 19/18(2006.01)

F 16 C 25/08(2006.01)

B 21 D 39/00(2006.01)

【F I】

F 16 C 35/063

F 16 C 19/18

F 16 C 25/08 Z

B 21 D 39/00 D

20

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年5月10日(2022.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

そして、かしめ部19を形成した後(かしめ完了状態)の内輪13の外径寸法D1と、ハブ輪14の嵌合筒部17に外嵌する以前の内輪13の外径寸法D0との差(D1 - D0)である内輪13の膨張量Dに基づいて、アキシアル隙間減少量Cを求める。アキシアル隙間減少量Cは、かしめ部19を形成することに伴う、ハブユニット軸受1のアキシアル隙間の減少量を表す。内輪13の膨張量Dと、アキシアル隙間減少量Cとの関係は、予め実験やシミュレーションなどによって求め、演算装置のメモリに、マップまたは式として記憶しておく。すなわち、内輪13の膨張量Dを前記演算装置に入力し、前記マップまたは式を用いて、アキシアル隙間減少量Cを求める。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0053】

初期アキシアル隙間C0からアキシアル隙間減少量Cを減ずる(C0 - C)ことにより、かしめ完了状態でのハブユニット軸受1bのアキシアル隙間C1を求める。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

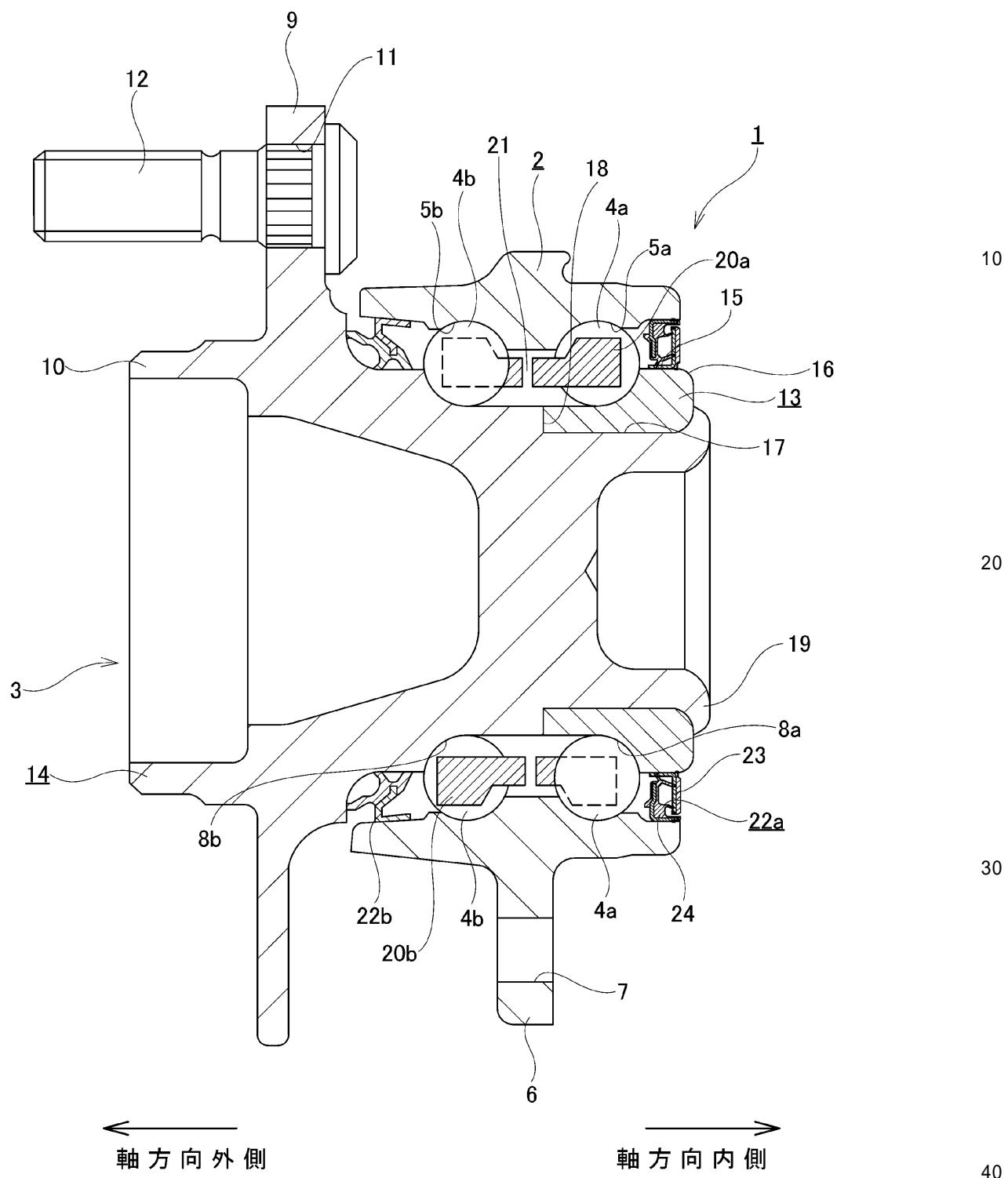
【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【図1】



【図2】

